



わたしらしく・・・あなたらしく・・・
 ～その人らしさを支えるために～

トピックス

理事長挨拶、ゆいの里ほっこりカフェ P2
 第3回ゆいの日 P3
 ゆい(結)ノート P4
 ボランティア交流会、事務部長・新人紹介 P5

平成26年度事業報告・決算報告 P6～P7
 おいしいね、ゆいの里 幸津川デイサービスセンター、
 編集後記 P8

社会福祉法人としての使命

理事長 廣田 加代子



社会福祉法人 慈恵会は積極的に地域に向き、また大勢のボランティアさんにも施設にお越しいただいて、これまで29年間を地域の方々と共に歩んでまいりました。

ゆい福祉基金設立から3年目の今年の「ゆいの日」には「第1回地域懇談会」を開催して民生委員高齢者部会の方々と意見交換もさせていただきました。

また昨今「社会福祉法人」が色々取り沙汰される中、私もは一層身を引き締めて社会の要請に応えられるよう、今年度の事業計画の中に地域支援事業を上げております。

今年度からの第6期介護保険改正では今後の超高齢社会を見据えて持続可能な制度にするため介護保険から要支援のサービスを外す方向が示され、介護予防については地域を挙げたの取り組みが求められる流れになってきておりますが、私どもは各自治会とタイアップして地域支援に取り組んでまいりたいと考えているところです。

一方、「最期のときをゆいの里で」と看取りをご希望される大勢のご家族様と一緒に、また在宅における人生の最終段階の支援にも引き続き取り組んでまいります。

創設者が、守山市内にどうしても必要だと特別養護老人ホーム「ゆいの里」を作ってから30年近く経過致します。今後も地域になくはならぬゆいの里であり続けたいと考えております。まだまだ小さな歩みですが、この先も皆さまのご協力を頂きながら、地域連携室を中心に法人を上げて取り組み、活動の幅を広げてまいれる所存です。

今後ともどうぞご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

『ゆいの里ほっこりカフェ』プロジェクトチーム始動!!

昨年度、ゆいの里では、職員に向けて「ゆいの里の地域貢献活動」についての提案を募集したところ、現在行っている『出前講座』や『料理教室』『介護予防教室』などのグレードアップや、子どもから高齢者まで交流できるイベントの開催など、数多くの提案が集まりました。

集まったものを分類し、その中で多かったのが、「だれでも気軽に集い、交流できる場」「介護の悩みなど気軽に相談できる場」「仲間づくりができる場」など「認知症カフェ」や「コミュニティカフェ」のようなものを作りたいという提案でした。

そこで、「カフェプロジェクトチーム」を立ち上げ、話し合いを重ね、3月に『第1回ゆいの里ほっこりカフェ』を開催しました。

「来てくださる皆さんに“ほっこり”していただきたい」という思いを込めて、『ゆいの里ほっこりカフェ』と名付けました。

予想をはるかに上回るご参加があり、アンケートでは「出来るだけ継続して欲しい」「家族同士の話し合いの場にしてほしい」「もっと職員と話したかった」など次に期待するお声もたくさん頂きました。

今年度もプロジェクトチーム中心に企画を始めています。これからも多くの方に参加して頂けるよう企画していきたいと思っております。詳細が決まり次第、チラシや広報誌でお知らせしたいと思いますので、皆さん是非ご参加ください。



創立者記念



第3回

ゆいの日

5月28日(木)

100名近くの方々にご参加いただきました。ありがとうございました。



ゆい福祉基金感謝表彰



今年の感謝表彰は、スクールガードをして下さっている方々5名でした。一番長い方は18年間、雨の日も風の日も雪の日も、子供達の安全に貢献して下さいました。また、おひとりがこんなお話をして下さいました。「私の父は、私の子供を大切に想い、長年スクールガードを続けてくれました。父が亡くなる時には、父の想いを子供がしっかり受け止め、感謝の気持ちを込めて、最期の惜別をしてくれました。その姿を見て、私は本当に感動しました。そのことを機に、私もスクールガードを始めました。」毎日の実践に加えて、聞かせて下さったお話にも感動を頂きました。



記念講演



笑福亭学光氏の講演「笑って笑ってお元気に」。

人の話はどこでおちるかわからない。これは受けると思っても、お客さんはそんなに甘くない。人を笑わせる、いえいえ笑っていただくことは本当に大変だと思いました。名前の由来や、これまでの講演で、子供達の厳しい目を経験した事等々をお話していただきました。最後はゆいの里の職員に舞台の上で南京たますだれを指導しながら、私達の笑いを引き出してくれました。この笑いが、ナチュラルキラー細胞を活性化して私達を元気にしてくれるということですね。『元気の秘訣』を教えていただきました。

第1回ゆいの里地域懇談会開催



民生委員さんと

ゆいの里では、「ゆいの日」にあわせて初の試みとして守山市の民生委員・児童委員さんと職員との懇談会を開催しました。今回は高齢者部会に所属する35名の方が参加

して下さいました。

地域で活躍されている皆様のお話を伺うと、本当に御苦労が多いことがわかりました。そのご意見の中から、ゆいの里がお手伝いできることがないか、これから検討していきます。貴重なご意見ありがとうございました。

また、ゆいの里の施設見学が初めてという委員さんもたくさんいらっしゃいました。

どうぞ、いつでもお気軽にゆいの里へ、お越しください。お待ちしております。



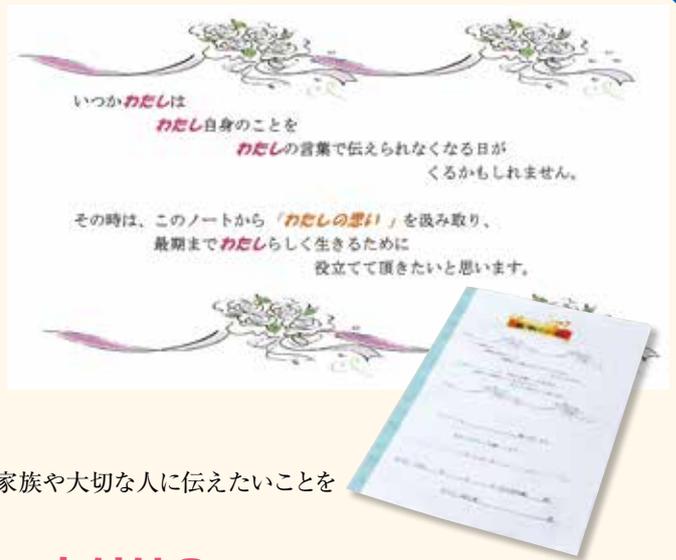
とつげきインタビュー

『ゆい(結)ノート』

私らしく、あなたらしく ~その人らしさを支えるために~

ゆいの里のエンディングノートをつくらうと研究会を立ち上げて1年余り、皆の想いがつまった『ゆい(結)ノート』が完成。現在PR活動を行っています。今回は、その研究会のメンバーにインタビューしました。

※エンディングノート…自分に「もしも」のことがあったときのために、家族や大切な人に伝えたいことをわかりやすくまとめておくノートのこと。



いつかわたしは
わたし自身のことを
わたしの言葉で伝えられなくなる日が
くるかもしれません。

その時は、このノートから「わたしの想い」を読み取り、
最期までわたしらしく生きるために
役立てて頂きたいと思います。

Question 1 このノートをつくらうと思ったきっかけは？



ある研修で、ファイナンシャルプランナーの方が、遺産整理に苦労された経験をもとに『エンディングノート』を紹介してくださいました。福祉従事者としての観点からゆいの里でもエンディングノートをつくることはできないかと思うようになりました。



自分の最期を話す人をまだ考えていない人も多い。将来について一緒に考える機会を持ちたいと考えて…。



ゆいの里で出会う時には認知症が進行され、若い時の話など聞けない方もたくさんおられる。亡くなる時より認知症になる前に書けるものがあればもっとその方のことを知ってケアにつなげられる。

Question 2 ノートをつくる上で大事にしたことは？



“書きやすいものにしたい”というのが一番。すぐに自分の最期の時を考えるのは難しいけど、自分の小さいころからの思い出を振り返るなら…過去があって今があって未来につながるの。

エンディングノートじゃなくて『ゆい(結)ノート』。もし自分が認知症になったら「どう最期を迎えたいか」ではなく、この先、色々な人との関係を結びながら「どう生きていきたいか」のためのものに。



Question 3 …でも、すぐには書けない。どのタイミングで書けばいいのか？



そうですね。もし今、仕事やボランティアなど何か役割を持っておられたら、まさに“今”が書くときです。気持ちが前向きな時が書きやすいんじゃないでしょうか。

“ご家族と一緒に書いてほしい”です。子供の頃のこと、青春時代など自分のことを語る機会として使ってもらいたいと思っています。



Question 4 ゆい(結)ノートの今後は？

すでに地域のサロンや老人会などで紹介し、300冊余り配布しています。「ゆい(結)ノート」を知って講演依頼などもいただいています。これからもいろんな方に活用していただきたいです。



インタビューを通して・・・



インタビューを終え、後日、さっそく自分の母にエンディングノートを渡したところ、ちゃんと書いてくれました。私の知らない母の姿に驚きもありましたが、生きている間に知ることができて貴重な機会を得たと思っています。また、この記事を作成している時、偶然、ゆいの里で看取らせていただいたご家族とご本人の人生を振り返る機会があり、改めてお一人お一人のことをもっと知るといふ努力が大切だと感じました。

ボランティア交流会

“おにぎりにぎにぎおにぎらず!おで〜んでんでん変わりおでん”

ボランティア交流会も今年で15回目を迎えました。今年は、巷で流行っている“おにぎらず”と、3種類のめずらしいスープで炊いたおでんでおもてなしです。また、料理教室の皆さんにも朝の準備から手伝っていただきました。この教室で出会った仲間の方とワイワイ楽しく作られた”ゆいちゃん巻き(飾り寿司)”も好評でした!



ボランティアさんによる活動紹介では、「さくら会」さんによるマジックショーと弾き語り、「市三宅江州音頭舞好会」さんによる唄と太鼓のお囃子をご披露くださいました。

弾き語りでは自己紹介を替え唄で面白おかしく表現されて、とてもいきいきとした姿が印象的でした。江州音頭が始まると、会場に大きな輪ができ上がり、一緒に参加される方、その様子を見て楽しめる方など参加のスタイルはいろいろでしたが、とても一体感がありました。

今年も90名近くの方が参加くださり、改めてたくさんのボランティアさんに、ゆいの里は支えられているんだと実感するとともに、感謝の想いでいっぱいです。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。



事務部長紹介

森上 圭二

ゆいの里は、来年30周年を迎えます。この歴史ある法人の活性化や職員の方の安定した生活の為に今までに培った総務や人事の経験を活かし、新たな提案をしていきたいです。特に介護業界の人材不足は深刻化し、いかにして業界に人材を集めるかは、緊急課題です。ゆいの里独自のアピールポイントを創り、人材確保に努めて参ります。ご支援ご鞭撻をよろしくお願いたします。



森本 将史 <特養:別館>

些細な変化を見逃すことなく、一日一日を大切に過ごしていきたいです。



村上 真美 <特養:新館>

個別の関わりを多く持ち、信頼される職員になりたいと思います。



山口 優馬 <特養:本館>

利用者様と楽しくお話をさせて頂いている時に、この仕事を目指して良かったなと感じます。



中川 裕己哉 <特養:別館>

一人でも多くの利用者様を笑顔にできる職員になりたいです。



中桐 奈津子 <特養:新館>

思いに寄り添い、居心地が良いと感じて頂けるよう、関わりを大切にしていきたいです。

新人紹介

あなたの笑顔に
会いたくて



北川 光咲 <特養:別館>

思いや悩みに寄り添うことができる職員になれるように、日々努力していきたいです。

平成26年度 事業報告

◆ 総 括

- I. 「利用者中心のサービス提供」
 1. 特養の静養室を整備し、施設での看取りを積極的に行い、グリーンケアも開始した。
 2. デイサービス、居宅介護、訪問介護各事業は「在宅看取りの支援」を目標に掲げ看取り支援を行った。
 3. 介護予防型デイ「ひまわり」ではパンを焼き販売する等、活発に活動した。
- II. 「地域福祉への貢献」
 1. 守山市、包括支援センター、南部介護サービス事業者等々の研修会を通して介護保険第6期改正、社会福祉法人の地域貢献情報収集に努めた。
 2. 地域自治会を訪問により、地域の実態の把握と支援ニーズを知ることが出来た。
- III. 「職員の資質の向上」
 1. 人事考課制度の評価表を完成し、個人面談、評価後上位者表彰を行った。今後、修正して期末賞与に反映させる。
 2. 育成担当者・ブラザー&シスター・班長を任命し、人材育成及び人材定着をはかった。
 3. 園内研究発表会を開催し、入選者は滋賀県老人福祉協議会や社会福祉学会等で発表した。
- IV. 「安全管理の徹底」
 1. 事業継続計画（BCP）構想や県・市との福祉避難所協定、自治会災害協定、近隣施設間では複数事業所連携・近隣施設「福祉教育ゾーンまちづくりパートナーシップ協定」を締結した。法人役職者はメール、ラインでの実践訓練を行った。
 2. ケアハウスの大規模改修（6月～10月）行い、リニューアル見学会により、利用者募集を行った。
 3. 幸津川デイサービスがH27年4月1日法人へ移管譲渡される為、外壁・屋根の大規模修繕、ボイラー機器取り換え工事を終了した。（平成27年度は入浴、トイレ設備を中心に内装修繕を実施する。）
- V. 「健全経営の確保」
 1. 目標稼働率の達成割合：特養（97.6%）・ショートステイ（87.8%）：守デイ（えんがわ99.2%）ひまわり（73.7%）はなれ（102%）：幸津川デイ（93.1%）：グループホーム（102%）：ケアハウス（95%）：居宅（100%）：訪問介護（162%）
- VI. 「人材確保に努める」
 1. マイナビによる見学会、福祉の職場説明会、福祉人材派遣紹介、新聞折り込み等を通して広く求人した。人材不足は新規採用により解消している状態である。職員紹介制度を整えた。

◆ 利用状況 ※各表は平成27年3月末現在のものです。

特別養護老人ホーム（定員100名）				ショートステイ（定員16名）			
年間入所平均数	94.7名	平均入院数	4.4名	年間延べ利用者数	5,769名	1日平均	15.8名
平均年齢	85.5歳	最高齢者	103歳	平均介護度	3.0		
平均介護度	3.5	年間入退所数	26名/26名				

デイサービスセンター						
守山デイサービスセンター（定員合計47名）	年間延べ利用者数	8,871名	1日平均	34.4名	平均介護度	1.8
幸津川デイサービスセンター（定員32名）	年間延べ利用者数	7,365名	1日平均	23.8名	平均介護度	3.0

グループホーム（定員18名）				ケアハウス（定員50名）			
年間延べ利用者数	6,469名	1日平均	17.7名	年間延べ利用者数	16,994名	1日平均	46.6名
平均年齢	90.8歳	最高齢者	96歳	平均年齢	83.6歳	最高齢者	95歳
平均介護度	2.2			平均介護度	1.1		

居宅介護支援事業所				訪問介護事業			
年間給付実績件数	1,959件	月平均	163件	年間利用実績件数	5,237件	1日平均	17.7件
平均介護度	2.1			平均介護度	2.3		

守山市委託事業					
サロン派遣事業	年間開催実績回数	24回	複合型介護予防教室	年間延べ利用者数	458名
認知症サポーター養成講座	年間延べ参加者	72名			

- ◆ **実習等受入数** 実習・体験受入数 71名
 実習受入 社会福祉士、介護福祉士、看護師、ヘルパー実習 22回 47名
 体験学習等受入 体験学習13回 24名

- ◆ **ボランティア活動**
 ボランティア登録グループ数・延べ人数及び来園延べ人数 登録数：61グループ・278人 年間延べ数2,078名

- ◆ **職員研修状況**
 園内研修延べ回数 22回/年 参加延べ人数 827名/年
 園外研修 参加延べ人数 323名/年
 階層別研修 参加延べ人数 102名/年

平成26年度 決算報告

自：平成26年4月1日 至：平成27年3月31日
 (単位：千円)

貸借対照表

資産の部	
流動資産	513,201
固定資産 (基本財産)	1,984,362
(その他固定資産)	1,585,297
	399,065
資産の部合計	2,497,563

負債の部	
流動負債	89,360
固定負債	147,974
負債の部合計	237,334

純資産の部	
基本金	437,122
国庫補助金等特別積立金	729,993
施設整備等積立金	190,000
次期繰越経常活動収支差額	903,114
(うち当期活動収支差額)	50,416
純資産の部合計	2,260,229
負債及び純資産の部合計	2,497,563

事業活動計算書

収入の部	
介護保険事業収益	769,023
老人福祉事業収益	83,845
経常経費寄付金収益	2,184
その他収益	452
サービス活動収益計	855,504
受取利息配当金収益	230
その他サービス活動外収益	6,556
サービス活動外収益計	6,786
施設整備等補助金収益	0
固定資産受贈額	250
特別収益計	250
収益の部計	862,540

支出の部	
人件費	523,046
事業費	145,486
事務費	94,762
利用者負担額増減額	742
減価償却費	78,845
国庫補助金等特別積立金取崩額	-36,217
サービス事業活動費用計	806,664
支払利息	415
その他サービス活動外費用	5,045
サービス事業活動外費用計	5,460
固定資産売却損・処分損	0
国庫補助金等特別積立金積立額	0
特別費用計	0
費用の部計	812,124
当期活動増減差額	50,416

ちょっといい話

家族みんなで 美味しい食卓

噛む力や飲み込む力は、年齢と共に弱ってきます。食べやすいようにミキサーなどにかけての食事は、食材が細かく刻まれ混ざり合うため、どうしても見た目に変化してしまいます。今回紹介させて頂く里芋のグラタンは、見た目を崩すことなく、特別な調理をせずに家族みんなで同じものを食べて頂くことができます。

おいしく安全に召し上がって頂くポイントは、軟らかい素材を選ぶことや具材を細かく刻むこと、柔らかく煮ることです。ホワイトソースのとろみと具材がからむことで食べやすくなります。

また、里芋のホワイトソースを牛乳でのばしてコンソメ等を足して味を調えることで、ポタージュスープにもなります。アレンジを加えることで、飲み込む力が弱くなってきた時や体調がすぐれない時など、身体の状態に合わせて食べて頂くことができます。

里芋が苦手な方は、長芋に替えても同様においしくできます。



栄養士より

バターを使用せず、里芋のねばりを利用したヘルシーなホワイトソースです。

里芋のぬめり成分に含まれているムチンには、コレステロール値の上昇を抑えてくれる効果があります。



材料(2人分)

- 里芋 …… 150g
- 玉葱 …… 1/2個
- 水 …… 100cc
- 顆粒コンソメ …… 2g
- 牛乳 …… 300cc
- ☆ 塩胡椒 …… 適量
- サラダ油 …… 少々
- 粉チーズ …… 適量
- パン粉 …… 適量
- マカロニ …… ベーコン
- かぼちゃ …… かぶ
- ブロッコリー …… 白身魚
- 鮭 …… 鶏肉
- 鮭 …… などお好みの具

おいしいね

里芋のホワイトソースグラタン



【作り方】

- 1 里芋は皮をむきひと口大に切り、サツと茹でる。
 - 2 玉ねぎを小さめにカットし、油で炒め、水とコンソメを加える。
 - 3 ②に①を入れ、里芋に箸がスッと刺さる柔らかさまで煮る。
 - 4 少し冷ましてあら熱をとり、ミキサーで滑らかにし、牛乳を加える。
 - 5 (ミキサー等がない時はすり鉢等を使って滑らかにつぶしてください)
- ⑤ お好みの具を準備して④を上にかけてチーズをのせる。
トースターまたはオーブンでチーズが溶けて焼き色がつくまで焼く。

編集後記

今年度は、【わたしらしく、あなたらしく～その人らしさを支えるために～】をテーマに、地域で支えるネットワーク作りから、最期の看取りまで、その人らしい生活を支えるために社会福祉法人として、ゆいの里が現在行っている取り組みを紹介しました。今号「光彩号」は、「自分らしい=彩」を大切に、一人一人がキラキラと輝く光です。皆さんも一緒に、自分自身の輝きを見つけてみませんか？

<今号の表紙>

ゆいの里で、ボランティアさん、利用者さん、職員のキラキラとした輝きを見つけました。

「ゆいの里 幸津川 デイサービスセンター」になりました



幸津川デイサービスセンターは、平成27年4月に守山市の指定管理期間満了となり、守山市からゆいの里に移管されました。これに伴い、名称が「守山市立幸津川デイサービスセンター」から「ゆいの里 幸津川デイサービスセンター」へ名称変更しました。これからも安心して介護を受けていただけるように、サービスの向上に努めます。

- ◆ 特別養護老人ホームゆいの里
- ◆ ゆいの里守山デイサービスセンター
- ◆ ゆいの里守山居宅介護支援事業所
- ◆ ショートステイゆいの里
- ◆ ゆいの里幸津川デイサービスセンター
- ◆ ケアハウスゆい
- ◆ グループホームゆい
- ◆ ゆいの里訪問介護ステーション
- ◆ 守山市委託事業

社会福祉法人慈恵会 ゆいの里

TEL.077-585-4533

● 代表 E-mail home@yuinosato.or.jp

〒524-0103 滋賀県守山市洲本町1番地

FAX.077-585-5675

● ホームページ <http://www.yuinosato.or.jp>



※写真の掲載許可はいただいております。